

1 単元名 守ろう！わたしたちの川

2 目標

2つの川（芦田川と手城川）の特徴を理解し、保護者や地域の人々の防災意識を高めるために、河川のそばに住むときにどのような課題があるか明らかにし、情報を収集する。収集した情報を整理・分析し、解決策等を考え、まとめ表現することができる。

3 単元で育成を目指す資質・能力

学びに向かう力	課題発見・解決力	自己・他者理解力
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域の方に向けて、防災教室を行い、これまでの自分の生活を振り返り、家族や自分の命を守る活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの川の歴史や氾濫防止、環境保全のために取り組んでいることと自分の仮説の共通点や差異点から問題を見出す。</li> <li>問題解決の目的や場面に応じて、解決方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や防災のために地域や専門家が取り組んでいることを知り、設定した課題の解決に向けて学校でできること、自分にできることを考える。</li> </ul>

4 評価規準

(1) 単元全体

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>芦田川や手城川の川の変容やそこに住んでいる生物たちから川の特徴を理解している。</li> <li>川の周りの土地活用の違いを目的に応じた方法で調べている。</li> <li>川のそばに住むことで、川の水を利用していることや氾濫の被害があることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある川へ関心を持つことをもとに、課題を作り、解決の見通しを立てている。</li> <li>課題解決に必要な情報を収集し、収集した情報を整理・分析している。</li> <li>相手に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けて、自分と違う意見を生かしながら、協働して学び合おうとしている。</li> <li>身近な川との関わりの中で、これまでの自分の生活を振り返り、自分や家族にできることを見付けようとしている。</li> </ul>

(2) 小単元

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>①インタビューや聞き取り調査などによる調査を、目的や場面に応じた方法で実施している。</li> <li>②芦田川的环境や利水、生物について理解している。</li> <li>③流域、支流の言葉の意味を理解している。</li> <li>④地図をもとに川の周りの土地活用や氾濫危険地域を理解している。</li> <li>⑤芦田川の土地の周りは、上流・中流・下流で違いがあることに気付く。</li> <li>⑥手城川的环境や利水、生物について理解している。</li> <li>⑦手城川の土地の周りは、上流・中流・下流で違いがあることに気付く。</li> <li>⑧手城川は、芦田川の流域であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①芦田川の水質汚染の原因や利水について情報を収集し、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしている。</li> <li>②芦田川は水害が起きているにも関わらず、人々は川の近くに住んでいる理由を考えている。</li> <li>③芦田川にいる外来種や在来種について、水質と関連付けて考えている。</li> <li>④芦田川について収集した情報から必要な情報を取捨選択し、複数の情報を比較・関連付けて考えている。</li> <li>⑤手城川と芦田川を比較して、土地の活用の違いが起こった原因を考える。</li> <li>⑥保護者や地域住民という相手意識をもって、自分の考えをまとめ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①芦田川について環境・生物・防災の視点を関連付けてまとめたことから、手城川を比較し新たな課題を発見し、探究的な学習に取り組もうとしている。</li> <li>②防災・環境・生物それぞれの視点から芦田川について協働して課題解決に取り組もうとしている。</li> <li>③手城川と芦田川に違いがあることを理解し、その理由を考える課題に取り組もうとしている。</li> <li>④保護者や地域の方に向けて、防災教室を行い、これまでの自分の生活を振り返り、家族や自分の命を守る行動をしようとしている。</li> </ul>

5 単元計画【全60時間扱い】

<p>1 学期「地域の川について知ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○芦田川と手城川について調べ、その中から児童が疑問に思ったことを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ芦田川は汚いのか</li> <li>・芦田川の歴史について 等</li> </ul> </li> <li>○インターネットや実験などで情報収集し、整理する。(学習端末の活用)</li> <li>○新たな疑問からグループ(生物、環境、防災 等)に分かれ、解決の見通しを立てる。</li> <li>○3つのグループの共通点や差異点を見つけ、次の疑問につなげる。</li> </ul>
--

	時数	○ねらい ・学習活動			知	思	態	評価方法
		防災	環境（水質）	生物				
手城川について（30時間）	9	○芦田川のこれまでの氾濫状況やその影響を知る。 ・生活と川の流の関係を整理する。 ・水害と川の恵みなど、川によってもたらされるものを考える。	○芦田川の周りの環境や汚れの状況を知る。 ・上水場と川との関係を調べる。 ・川の汚れやその原因を調べる。 ・流域による違いを考える。	○芦田川にいる生物を知る。 ・生物と流域、水質の関係を整理する。 ・いなくなった生物を調べる。 ・生物と人の生活との関連を考える。	① ② ③	① ② ③	① ②	・行動 ・発言 ・思考ツール ・成果物
		○芦田川の地図等に、3つの視点の結果をまとめ、つながりを見付ける。 ・ 防災と環境、環境と生物、生物と防災など、相互の関連を考える。 ・ 自然環境や人工物による影響を考える。						
	9	○手城川の浸水被害や環境について整理し、特徴を見つける。 ・ 芦田川について調べたことを基に、手城川について調べ、整理する。  <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>児童の状況に応じてアクティビティを行う。</p> <p>【アクティビティ「流域探し」①】 ○手城川と芦田川では土地活用に違いがあることに気づく。 ・ 芦田川、手城川の流域活用の違いを調べる。</p> <p>【アクティビティ「流域探し」②】 ○土地活用の違いの原因や影響を考える。 ・ 地図等に土地活用の違いを整理する。 ・ 流域の範囲や形状、重なり等と土地利用の関連を話し合う。</p> <p>【アクティビティ「塵もつもれば】 ○芦田川と手城川の水害の違いに気付く。 ・ 芦田川と手城川の水害による被害を比較する。 ・ 流域の広さと水害の関係を整理する。</p> </div>			④	② ⑤	③ ④	・行動 ・発言 ・思考ツール ・成果物
12	○防災教室を企画し、実施計画をたてる。 ・ 手城川の災害から命や地域を守るために必要なことを考える。 ・ 防災教室で伝える内容、相手、方法等を整理する。				⑥		・行動 ・発言 ・成果物	

3学期「共に生きるには」  
○保護者・地域等へ防災教室を行い、家族や自分の命を守る行動を生活の中で行えるようにする。  
○防災教室実施後、防災意識の変容を調査する。（アンケート等）  
○地域の方の防災意識を調査（アンケート等）し、保護者と比較して情報を整理する。  
○活動を振り返り、自分や友達のよさや伸びたところを見つける。

## 6 学習展開（14時間目）

### (1) 目標

アクティビティから土地の活用には違いがあることに気付く、芦田川と手城川の土地活用の違いが起こる理由を考える。

### (2) 育成する21世紀型“スキル&倫理観”

アクティビティを通して、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。

### (3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
課題把握	1 前時の活動の続きを行う。支流を結んでわかることを確認する。 ・ 芦田川は流域が広すぎる。 ・ 手城川は流域が狭いな。 ・ 芦田川の周りは、工場も田んぼもある。 ・ いろいろなものが周りにある。 ・ 手城川は、住宅地ばかりだ。	・ 前時土地の活用について分かったことを確認し、本時の活動につなげる。 ・ 流域探しで使用した、地図を掲示する。 ・ グループに分かれて、手城川と芦田川の周りのものを整理する。	

流域の土地活用の違いはなぜ起こるのか。						
展 開	2 土地の活用の違いがなぜ起こるのか考える。	<table border="1"> <tr> <td> <b>【芦田川】</b>            ・芦田川の支流は82。            ・芦田川の流域は広い。            ・昔は、道路代わりに使い、物を運搬していた。            ・今は、農業用水、工業用水、発電所、などに利用されている。            ・人口が増えて、困らないように浄水場がある。         </td> <td> <b>【手城川】</b>            ・芦田川の流域に入っており、農業に使っていた。            ・農業用水のみに使われている。            ・人口増加により農業地が商業地や住宅地に変化した。         </td> </tr> </table>	<b>【芦田川】</b> ・芦田川の支流は82。 ・芦田川の流域は広い。 ・昔は、道路代わりに使い、物を運搬していた。 ・今は、農業用水、工業用水、発電所、などに利用されている。 ・人口が増えて、困らないように浄水場がある。	<b>【手城川】</b> ・芦田川の流域に入っており、農業に使っていた。 ・農業用水のみに使われている。 ・人口増加により農業地が商業地や住宅地に変化した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手城川について・芦田川についてのこれまでの資料や地図から、手城川と芦田川の土地活用の違いについてどんなことが分かるか情報を収集し、整理分析していく。</li> <li>・手城川流域の人口変化によって、農業で使われていたが、住宅地や商業地に変化したことを資料から読み取る。</li> <li>・芦田川は、農業や工場、発電所などで利水をされているから周りの土地の活用が違うことを資料から読み取る。</li> </ul>	○手城川について、芦田川と比較したり関連付けたりしながら特徴をまとめている。
	<b>【芦田川】</b> ・芦田川の支流は82。 ・芦田川の流域は広い。 ・昔は、道路代わりに使い、物を運搬していた。 ・今は、農業用水、工業用水、発電所、などに利用されている。 ・人口が増えて、困らないように浄水場がある。	<b>【手城川】</b> ・芦田川の流域に入っており、農業に使っていた。 ・農業用水のみに使われている。 ・人口増加により農業地が商業地や住宅地に変化した。				
3 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手城川は農業用のみに使われているね。</li> <li>・芦田川はいろんなことに水を使っているね。</li> <li>・その理由は、芦田川の流域が広いからいろんな用途に使っている。</li> </ul>					
ま と め	4 次時につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨が降った時にどちらも氾濫する可能性があるよね。</li> <li>・芦田川は被害が広がるんじゃないのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後につながるように視点を変えて流域について考える。</li> </ul>				

(4) ルーブリック

B	A	S
2つの川の情報を集め、比べたりつなげたりして、特徴を見つけることができる。	2つの川の情報を集め、比べたりつなげたりして、特徴を整理し、新たな課題を見つけることができる。	2つの川の情報を集め、比べたりつなげたりして、特徴を整理し、新たな課題を見つけ、それを分類している。